

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月21日更新

事務事業名		災害救助事業(関係課共通)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	15	防災対策の推進			所属課	福祉課	担当者名	坂本 晃一
	施策の柱	50	災害復旧対策			所属班	社会福祉班	(内線)	1160
予算科目	会計一般	款 3	項 4	目 1	事業連番 11706	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成28年4月に発生した熊本地震からの早期復旧を図る事業である。 事業期間は以下のとおり ・私道復旧補助金(建設課)・・・R3年度までで終了 ・住まい再建支援事業(都市計画課)・・・R2年度までで終了 ・被災宅地災害復旧事業(都市計画課)・・・R3年度までで終了(R2.3.31事前届け出分まで) ・災害援護資金元金償還金(福祉課)・・・R9年度までで終了予定
【業務の流れ】	災害援護資金元金償還金(福祉課) ①借受人へ償還の通知(元金+利息)、②入金された元金分を県へ償還(上半期中に市へ入金された分は下半期末、下半期中に市へ入金された分は翌年度上半期末に県へ償還)
【主な予算費目】	・私道復旧補助金・・・補助金 ・住まい再建支援事業・・・補助金 ・被災宅地災害復旧事業・・・補助金 ・災害援護資金元金償還金・・・償還金
【意見や要望】	災害援護資金元金償還金(福祉課) 借受人から繰上償還の依頼があつているため、都度対応中。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	・災害援護資金元金償還金(福祉課) 借受人2人に対し、上半期下半期それぞれ1回ずつ償還通知及び納付書を発送し、延滞なく償還された。昨年度下半期に市へ償還された分を当年度上半期末に、当年度上半期中に市へ償還された分を当年度末に延滞なく県へ償還した。【基準に達しなかった理由】災害弔慰金支給等審査委員会の開催がなく開催に伴う支出がなかったため。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・災害援護資金元金償還金(福祉課) 借受人2人に対し、償還通知及び納付書を発送し、延滞なく償還させる。県へも延滞なく償還する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 円	予算の主な増減の理由
→ア:償還残額	円	
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		(単位) 人
		→ア:市民
		→イ:貸付件数
		件
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
通常の生活が送れる状態になる。		(単位) %
		→ア:償還率
		→イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	円	0	0	0	1,168,585	847,036	515,768	174,489	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	63,841	64,453	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457	
	イ	件	0	0	0	2	2	2	2	0	
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	15,928							
		地方債	千円								
		その他	千円	1,596	1,364	398	354	354	354	354	
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	3,592	420	316	147	335	345	355	542
		(A)事業費計	千円	21,116	1,784	714	501	689	699	709	542
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	28	17	0	22	0	0	0	0
延べ業務時間		時間	1,436	895.75	0	376	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	5,614	3,409	0	1,369	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	26,730	5,193	714	1,870	689	699	709	542	

事務事業名	災害救助事業（関係課共通）	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 借受人からの償還、県への償還ともに延滞なくスムーズに事務執行できた。
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 借受人から継続した償還の意思を確認しており、遅延も起こしていない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 償還計画があらかじめ決められており、向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく事業であるため統廃合・連携の余地はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 償還計画に基づくものであり、削減余地なし。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 必要最低限の人件費である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 償還計画に基づく県への償還であるため公平・公正である。
	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 災害援護資金元金償還金（福祉課） 県への償還計画に基づく償還であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

災害援護資金元金償還金（福祉課）
今年度も借受人からの償還、県への償還ともに延滞なく執行できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						